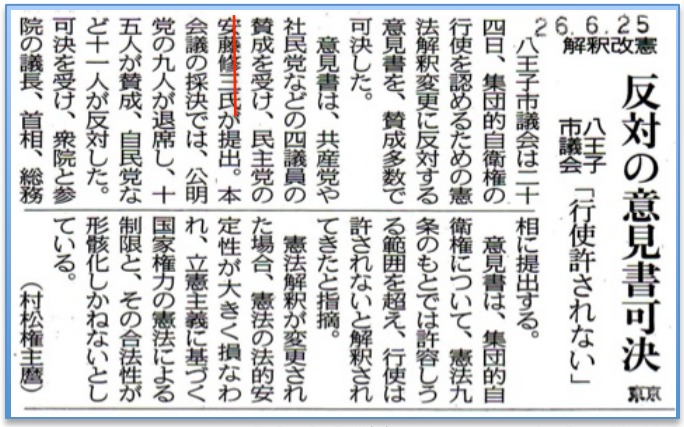
数字あれこれ ○○○ この数字、どう思いますか？

○15、△9、×12　皆さんはこの数字、何だと思いますか？

この度、私が市議会に提出した、「集団的自衛権行使容認の為の憲法解釈変更に反対する意見書」の審議結果です。◯（市民・民主、共産、社ネ自、結、諸派）が賛成、△（公明）が棄権、×（自民、みんな）が反対となり、賛成多数で可決出来ました。自民・公明が過半数を超える八王子市議会で党派を超えてこの様な意見書を可決し、国へ提出できた事は、非常に大きな意義があると思います。ご賛同頂いた皆様に感謝します。意見書の主旨は、今回のような憲法解釈変更が閣議決定で行われれば、憲法の法的安定性が大きく揺らぐだけでなく、立憲主義にも反する事態となり、認められない。というものです。このような地方の意見をよそに、7月1日、政府は憲法解釈変更を閣議決定しました。非常に遺憾であり、危機感を覚えます。この件について、私のHP、ブログで詳述していますので、よろしければご覧下さい。



6.6.25 解釈改憲

反対の意見書可決

八王子市議会「行使許されない」

八王子市議会は二十四日、集団的自衛権の行使を認めるための憲法解釈変更に反対する意見書を、賛成多数で可決した。

意見書は、共産党や社民党などの四議員の賛成を受け、民主党の安藤修三氏が提出。本会議の採決では、公明党の九人が退席し、十五人が賛成、自民党など十一人が反対した。可決を受け、衆院と参院の議長、首相、総務相に提出する。

意見書は、集団的自衛権について、憲法九条のもとでは許容しうる範囲を超え、行使は許されないと解釈されてきたと指摘。憲法解釈が変更された場合、憲法の法的安定性が大きく損なわれ、立憲主義に基づく国家権力の憲法による制限と、その合法性が形骸化しかねないとしている。（村松権主麿）

東京

【東京新聞　6月25日版より抜粋】

ご意見、語る会（座談会）、後援会入会、随時募集中！

お名前　　お電話番号

ご住所

■ご意見・ご要望、座談会で語りたい事、後援会への入会希望など

安藤おさみHP・ブログ【安藤おさみ】で検索！
メール：osamiando55@gmail.com

上記ご記入のうえ、この用紙をFAXください。

発行所：安藤修三後援会事務所：八王子市散田町1－7－2
TEL＆FAX　042－664－1920　安藤修三後援会会報【討議資料】

しゅうこちじん 修己治人　Vol. 7　平成26年7月20日発行

※「修己治人」とは、「学問等の修養して徳を積み、それにより人々を感化して世の中を良くしていく」という言葉です。吉田松陰の松下村塾でも「修己治人の学」が説かれていました。

安藤（あんどう）　修三（おさみ）

八王子市議会議員　市政報告

市民・民主クラブ

ごあいさつ

盛夏の候、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

八王子市議会では、3月の第1回定例会で平成26年度の予算案が審議されました。その一般会計予算は、1900億円（前年比33億円増）と過去数年間で最大規模となりました。その主な要因として消費税率アップや固定資産税、法人市民税の税収増が見込まれる事が挙げられます。一方、個人所得税については、減収見込みとなりました。このことから、アベノミクス効果は、個人所得へ波及していないということがみてとれる状況となりました。

また、6月第2回定例会では補正予算等の審議が行われ、約22億円の補正予算が計上されました。そこでは、2月の大雪の際に除雪に時間を要したという反省から、議会の要望として提案した除雪用重機の購入費用や、八王子駅周辺再開発の基金などが計上されました。

今回は、上記定例会での私の質問や提案内容を中心に報告させて頂きます。

※なお、誌面の関係上、全ての発言項目を記載できておりません。以前から提案している災害行政無線の戸別受信機の導入については、一般質問で再度取り上げた結果、今後順次導入していく方向性が確認されました。
詳細については、ブログや市議会会議録を参照して頂ければ幸甚です。

＜安藤おさみ　プロフィール＞

1980年4月28日散田町のサラリーマン家庭に生まれる
【学歴】山田小、第七中、日大三高、日本大学生物資源（旧農獣医）科学部卒業、早稲田大学大学院　政治経済学術院　修了（公共経営修士）
【職歴】商社営業を経て㈱船井総合研究所にて経営コンサルティング職
【政治活動】2011年八王子市議会議員に3,671票を賜り初当選。
厚生委員、復興支援・防災対策特別委員会副委員長、議会運営委員として議会活動を行う。【その他】いちょう祭り実行委員、消防団第９分団１部班長など

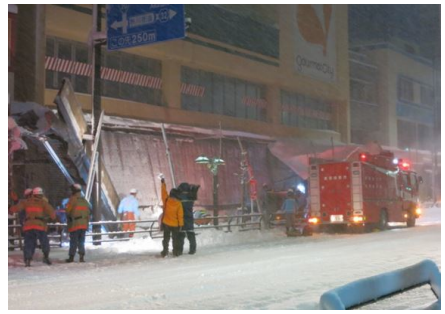
私の主張・提案　＜予算委員会/一般質問＞

～徹底した行政改革＝ムダな事業の見直しを！～※予算審議より

皆さんは、行政の仕事に対して「こんなことに税金使うのムダじゃない？」とか、「この事業意味あるの？」なんて思った事ありませんか？八王子市役所では、1年を通して2000弱の事業を実施（一例として、ゴミの収集や市営の保育園の運営など）しています。民間企業も同様ですが、実施している事業の目的や効果、予算の使われ方が適当かどうか、検証と見直しを行い、次年度以降の事業へ反映していく、このような事業運営PDCAサイクル（※右図参照）が必要であることは言うまでもありません。今回、私は八王子市で実施されている事業のCheckに該当する「行政評価」という取り組みと、Actionに該当する次年度予算編成への反映について、提案を含めた質問をしました。

まず、Checkの「行政評価」は、事業を実際に実施している部署が、自らその事業を評価するというものです。自分たちのやっている事業を、虚心坦懐に自ら検証するという考え方は良いと思います。しかし実際は、第三者的視点（客観性）が欠けている為、言葉は悪いですが、「お手盛り」になってしまっています。現に評価項目には目標達成度をA～Dの4段階で評価する箇所がありますが、その全てがA又はB評価となっており、虚心坦懐に客観性をもって評価が出来ているのか、疑問が残る状況です。また、PDCAサイクルの透明性についても改善の必要があります。例えば、この「行政評価」を行って、その評価結果がどのように次年度の予算に反映されたのか、現状では全く分からない状況です。さらに、現在は評価基準に一貫性がありません。活動実績と成果実績を一緒くたにして評価してしています。これら、客観性と透明性、さらに一貫性の観点を一層深化させた「行政評価」にしていく必要があります。また、民主党政権時代に、国で実施するようになった、「行政事業レビュー」のように、全ての細事業を対象に、第三者の視点を入れ、一貫性と透明性のある行政評価を行う必要があると指摘提案しました。市側の答弁は、八王子市としても、現在の「行政評価」の仕組みを改善する必要があると認識し、今回の私の指摘した事項も含め、今後第8次行革大綱の中で、改善していきたいとの答弁がありました。「税金の無駄遣い」を無くし、効果的、効率的な事業展開ができるよう今後も行政評価の仕組みを強化していきます。

～教訓を活かした、雪害対策について～　※予算審議より


※大雪で崩落したアーケード

2月14、15日の大雪は、八王子市だけでなく、都市部を中心に甚大な被害をもたらしました。長期間に渡って市道をはじめとした交通網が雪に覆われ、その間都市機能がマヒ状態になってしまいました。この教訓を活かし、国や都と連携した除雪計画、雪害対策の策定と、町会、自治会を基盤にする、自主防災組織への助成メニュー（小型除雪機をはじめとした除雪用式材）を加えるよう提案しました。この提案が受け入れられ既に一部実現し、除雪用式材が自主防災組織への式材助成メニューに加わっています。また、要望書の形で提案した除雪用重機（ショベルカー、ホールローダーなど）も6月の補正予算で購入費用が計上され、除雪作業が速やかに実施できる体制が整いつつあります。

～歴史的価値を活かした富士森公園再整備を！～※一般質問より

※石碑前がゴミ置き場に！

富士森公園の南側、浅間神社周辺には、西南の役から第二次世界大戦（太平洋戦争）で、八王子をはじめとした西多摩地域出身の戦没者の名前が刻まれた石碑や、八王子にゆかりのある偉人の功績を讃えた石碑があります。もともと、当該地域には、八王子招魂社（国指定の慰霊施設）があり、この石碑もその名残だそうです。しかしながら現状は石碑の由来などを示したパネルなども無く、雑然と石碑が並んでいるだけで、この歴史を知る由もない状況になっています。今回の富士森公園再整備にあたっては、当該地域の歴史的背景をしっかりと知る事が出来るよう再整備を行う必要があると提案し、八王子市としても、今回指摘したように、歴史的価値を活かす視点をしっかりともって取り組んでいく、との答弁がありました。

議会基本条例　施行後初の定例会！

第2回定例会は、私が公約の第1に掲げた議会基本条例が制定されてから、初めての定例会となりました。一般質問における一問一答式の導入や、委員会審議における委員間討議など、条例に盛り込まれた様々な議会改革が実現しました。新しい方式ということもあり、不慣れな点がありますが、より実りのある審議を実現するために導入されたこの制度を一層活用し、議会改革を進めます！